

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 授業改善推進プランの検証

(1) 成果

外国語の学習では、自分の考えや思いを伝える活動を多く取り入れている。1学期は、5年生では自分について、6年生は自分の住んでいる地域についての学習を通し、友達と伝え合ったり、人前でスピーチしたりした。さらに、英語で会話をするパフォーマンステストや人前で一人で話すスピーチテストを導入することにより、英語で話すことができるようになったと達成感を感じる児童が多くいた。

5年生は絵と4線の上に書いてある単語を見て、6年生は絵と単語が書いてあるのを見て、自分の思いや考えを書いてきた。「書く」ことに意欲的に取り組む児童が多くなってきた。

(2) 課題

【低学年】

外国語活動の授業が年間8時間から25時間、月に2回程度に増えた。行事や学習内容とからめたりし、英語が話せることを楽しめるように指導してきた。英語で話すことに慣れていない児童がいるので、みんなで英語で歌ったり、ゲームをしたりして、楽しみながら取り組めるようにする。

【中学年】

教科書を使つての英語の学習に慣れていない児童がいるので、指示はゆっくり、細かく出し、多くの児童が取り組めるようにする。3年生でアルファベットの大文字、4年生でアルファベットの小文字が出てくる。その単元の学習の時だけではなく、アルファベットの学習を帯活動で取り入れ、5年生になる頃には、文字の形と音が一致するように授業を工夫する。

【高学年】

学習に使ったワークシートは、添削してから返却し、それを綴っていくよう指導している。いつでも、既習事項を振り返れるよう配慮することにより、多くの児童が既習事項の積み重ねができるようになった。新しい単元に入った時は、復習を取り入れ、知っている言葉だけでも自分の思いを伝えられるということを実感させ、抵抗なく新しい学習に取り組めるよう工夫する。一人で英語でスピーチすることに抵抗がある児童がいる。自信をもって英語で話すことができるように、学期の最後には人前でのスピーチを設定し、目標をもって授業に取り組めるようにする。その際、英語で原稿を書かせたり、スピーチのためのスライドを作らせたりし、色々な形で練習できるように配慮する。自分の思いや考えを楽しんで、英語で伝えることのできる児童を育てる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※◎…目標値を上回った ○…目標値と同程度 △…目標値を下回った

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	◎	◎	◎

(2) 分析 (観点別)

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。	・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。	・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年(大田区外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・3年生からの外国語活動につながるように、扱うテーマを考え、楽しく、意欲的に学習に取り組めるようにする。(学習計画)	・自分の生活の中に英語がたくさんあることに気付かせ、自分について英語で話したり、答えたりすることができるようになる。(学習構成)	・アイコンタクトを取りながら英語で相手の話したことを聞いたり、相手が分かりやすく英語で話すことの大切さを指導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(学習構成)

(2) 中学年(外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものの英語は繰り返し練習し、理解できるようにする。(学習構成) ・冠詞(a)について、2つ以上の時は複数形になる(～s)ということを指導し、定着するようにする。(学習構成) ・アルファベットの指導では、文字の形と音が定着するように、様々な場面で取り上げていく。(学習構成)	・数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものを英語で表現できるようにする。(学習構成)	・アイコンタクトを取りながら、英語で相手の話したことを聞いたり、相手が分かりやすく英語で話すことの大切さを指導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(学習構成)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身の周りにある英語に注目させたり、ICT機器を活用したりし、既習表現を繰り返し使うことにより慣れ親しみ、自由に使うことができるようにする。(学習構成) ・自分の思いや考えに近い言葉を英語で書く際、4線上のどこに書くか適宜指導することにより、多くに児童が正しく書くことができるようにする。(学習構成)	・既習事項を生かし、自分事と考え、英単語だけではなく、文で自分の思いや考えを自由に表現できるようにする。(学習構成)	・学期末にクラスみんなでスピーチをする場を設定し、既習事項を生かし、英語で主体的に伝えたり、聞いたりさせる。(学習構成)